

八 歸還ヲ希望スルトキハ其ノ目的地

第四條 世帯主ハ其ノ世帯ニ現在スル第二條第一項ニ規定スル者ニ付第三條各號ノ事項ヲ別ニ定ムル申告票用紙ニ記入シ府縣知事ノ定ムル期日迄ニ市町村長又ハ別ニ定ムル登錄調査員ニ提出スルコトニ依リ申告スベシ

世帯ニ於テ世帯主不在ナルトキハ事實上之ヲ管理スル者又ハ登錄調査員ノ指定シタル者ヲ以テ世帯主ト看做ス

第二條ノ時期ニ汽車、電車、其ノ他世帯ナキ場所ニ現在シタル者及聯合國軍ノ管理スル建物若ハ地域又ハ中華民國人以外ノ聯合國人ノ世帯ニ偶現在シタル者ハ同條ノ時期後始メテ到着シタル世帯ニ現在シタル者ト看做ス

本令ニ於テ世帯トハ住居及家計ヲ共ニスル者ヲ謂ヒ一人ニシテ住居ヲ有シ家計ヲ立ツル者亦一世帯トス家計ヲ共ニスルモ別ニ住居ヲ有スル者又ハ住居ヲ共ニスルモ別ニ家計ヲ立ツル者ハ別ノ世帯トス其ノ一人ナル場合亦同ジ

寄宿舎、病院、旅館、下宿屋、合宿所ノ場屋又ハ船舶ニ在ル者ニシテ其ノ家計ヲ共ニセザル場合ト雖モ一場屋又ハ一船舶毎ニ一世帯ニ準ズ

第五條 市町村長ハ第四條第一項ノ規定ニ依リ提出セル申告票ヲ朝鮮人、中華民國人、本島人及本籍ヲ北緯三十度以南(口之島ヲ含ム)ノ鹿児島縣又ハ沖繩縣ニ有スル者ノ各別ニ編綴シ登錄簿ヲ作成スベシ

第六條 市町村長ハ前條ノ登錄簿ニ依リ府縣知事ニ(府縣支廳長ノ管轄區域内ノ町村長ハ府縣支廳長ヲ經テ)其ノ定ムル期日迄ニ左ノ事項ヲ報告スベシ

一 朝鮮人、中華民國人、本島人及本籍ヲ北緯三十度以南(口之島ヲ含ム)ノ鹿児島縣又ハ沖繩縣ニ有スル者各別總數

二 朝鮮人、中華民國人、本島人及本籍ヲ北緯三十度以南(口之島ヲ含ム)ノ鹿児島縣又ハ沖繩縣ニ有スル者各別歸還希望者數(朝鮮人歸還希望者ニ付テハ歸還目的地ノ北緯三十八度線ニ依ル南北朝鮮別及其ノ道別、中華民國人歸還希望者ニ付テハ歸還目的地ノ華北、華中、華南別、本籍ヲ北緯三十度以南(口之島ヲ含ム)ノ鹿児島縣又ハ沖繩縣ニ有スル者ニ付テハ歸還目的地ノ各島別)

府縣知事前項ノ報告ヲ受理シタルトキハ之ヲ速ニ取纏メ厚生大臣ニ報告スベシ

第七條 天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ第二條第一項ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ府縣知事ハ厚生大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ認可ヲ經テ區域ヲ限リ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ六月以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第四條ノ規定ニ違反シ申告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ申告ヲ爲シタル者

二 第四條ノ規定ニ依ル申告ヲ妨ゲタル者

三 登錄調査員ノ事務執行ヲ妨ゲタル者

第九條 本令中市町村又ハ市町村長若ハ町村長ニ關スル規定ハ東京都ノ區ノ存スル區域域ニ市制第六條及市制第八十二條第三項ノ市ニ在リテハ區又ハ區長ニ、府縣支廳長ニ關スル規定ハ市制第六條及市制第八十二條第三項ノ市ニ在リテハ市長ニ之ヲ適用シ府縣トアルハ東京都及北海道ヲ、府縣知事トアルハ東

京都長官及北海道廳長官ヲ、府縣支廳長トアルハ東京都支廳長及北海道廳支廳長ヲ、市町村トアリ又ハ市町村長若ハ町村長トアルハ各々之ニ準ズベキモノヲ含ム

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
なお本令第二條第一項ノ規定ニ依る地域は同日厚生省告示第三十三號を以て次の如く指定された。

厚生省告示第三十三號(昭和二十一年三月十三日)
樺太
全域
北海道
國後郡、色丹郡、紗那郡、檉提郡、藥取郡、得撫郡、新知郡、占守郡、花咲郡齒舞村ノ内志賀島、多樂島、水晶島、勇留島及秋勇留島
東京都
大島支廳管内全域、三宅支廳管内全域、八丈支廳管内全域、小笠原支廳管内全域
島根縣
穩岐支廳管内五箇村ノ内竹島
鹿児島縣
大島支廳管内(十島村ノ内竹島、黒島、硫黃島ヲ除ク)

沖繩縣
全域

社會保險調查會官制の公布

終戦後の社會經濟事情及勞働情勢の變動にもとづき、社會保險制度は當面の議題に上されたが、政府は

之が調査研究を圖るため調査會を設置することとし、昭和二十二年三月勅令第六十七號を以て、右に關する官制を制定した。

社會保險制度調査會官制

(昭和二十二年三月二十八日勅令第六十七號)

第一條 社會保險制度調査會ハ厚生大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジテ社會保險ニ關スル事項ヲ調査審議ス

第二條 調査會ハ會長一人及委員三十人以内ヲ以テ之

ヲ組織ス

特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

委員及臨時委員ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ學識經驗アル者ノ中ヨリ命ゼラレタル委員ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨グズ

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ會長ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 調査會ニ幹事ヲ置ク厚生大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 調査會ニ書記ヲ置ク厚生大臣之ヲ命ズ

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

新潟	中魚沼	下條	八〇〇	農山村、理研下請工業	埼玉	入間	高麗	一、〇三八	工場疎開、山村	鳥取	岩美	本庄	四五五	純農
富山	氷見	熊無	四八一	山村手工業	埼玉	北足立	箕田	六七四	純農(工場關係)	鳥取	西伯	大山	六一四	山村
富山	上新川	上段	四五七	純農疎開	埼玉	大里	用上	五九四	有畜農、產加工	鳥取	西伯	富益	四三九	農漁村
滋賀	犬上	多賀	一、四〇〇	純農	埼玉	北葛飾	川邊	八二一	新工場地帯	鳥根	日野	福榮	三四一	農山村
滋賀	犬上	河瀬	一、一〇〇	純農	静岡	磐田	上淺羽	七二二	純農稻作	鳥根	能義	母里	四三七	純農
山梨	東山梨	勝沼	六七八	果樹園	静岡	磐田	函南	二、九二〇	畜産	鳥根	美濃	鎌手	七七五	農漁村
山梨	東八代	錦生	九五〇	養蠶村	静岡	田方	内房	七〇七	山村	福岡	仁多	布勢	五五七	山村
山梨	北巨摩	鹽崎	五二九	純農稻作	静岡	庵原	地頭方	一一一八	半農半漁	福岡	糸島	福吉	八〇八	漁村
山梨	北巨摩	大泉	七二〇	開墾	静岡	榛原	網代	八〇〇	漁村	福岡	糟屋	新宮	八〇六	漁村
山梨	南都留	谷村	二、五五一	疎開、機業	愛知	田方	下山	一、二四一	純農	長崎	北高來	湯江	一、五〇六	農村
山梨	南都留	禾生	七〇七	純農稻作	愛知	東加茂	有松	六九七	機業	長崎	南高來	大正	六二二	農村
山梨	南都留	盛里	三一〇	山村	愛知	知多	泉	一一一四	半農半漁	長崎	南高來	大三東	一、六〇三	農村
埼玉	入間	福岡	一、二七七	疎開、集約農業	愛知	渥美	清洲	一、五六四	疎開	合計			五三、〇一八	